



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 ダイコク電機株式会社
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 雅勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務セクタ長 (氏名) 丹羽 時重
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 052-581-7111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,145	52.6	185	201.6	214	127.7	△48	—
23年3月期第1四半期	7,961	△44.8	61	△96.5	94	△94.9	△22	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △46百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△3.28	—
23年3月期第1四半期	△1.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	49,720	25,530	51.2
23年3月期	49,015	26,020	52.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 25,461百万円 23年3月期 25,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の期末配当につきましては未定としております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	30.2	△900	—	△900	—	△900	—	△60.87
通期	38,000	10.2	△1,500	—	△1,500	—	△1,500	—	△101.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	14,783,900 株	23年3月期	14,783,900 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	315 株	23年3月期	315 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	14,783,585 株	23年3月期1Q	14,783,687 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、期末配当金につきましては、先行きが不透明なため引き続き未定とさせていただきますが、今後、配当予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災とその後の電力供給制約に加え、雇用情勢や個人消費は低迷するなど、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、当社DK-SISデータによりますと、震災後落ち込みました遊技客数は回復いたしました。また、半導体流通の不透明さによるパチンコ、パチスロ台の新機種販売の遅延や電力供給不足対応などにより新規出店及び大型投資は抑えられました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチンコホールにおいてパチンコ遊技機からパチスロ遊技機への入替が引続き行われるなか、パチスロ演出に有効な情報公開機器「BiGMO」を中心に、呼び出しランプ「IL-AW」、システムの中核となるCIIの提案を推進いたしました。

制御システム事業におきましては、物作りの改革を目指して開発業務の品質向上と効率を追求し、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高121億45百万円（前年同期比52.6%増）、営業利益1億85百万円（同201.6%増）、経常利益2億14百万円（同127.7%増）、四半期純損失48百万円（前年同期純損失22百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、MIRAI GATEネットワークを活用したホール経営を支援する窓口となる「CIIデスク」を更に強化いたしました。また、DK-SISデータを使った営業戦略ツール「CII-SIS」の活用を提案し、MIRAI GATEサービス、情報公開機器「BiGMO」などを推進いたしました。さらに、パチンコホールの省エネ化とファンの快適な遊技空間の創出を目指したホール環境監視サービスの提供を開始いたしました。

この結果、売上高は55億95百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は8億15百万円（同19.3%増）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、パチンコ遊技機市場全体は震災による半導体供給不足もあり販売機種数は減少いたしました。また、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めたことにより、当事業の販売機種は好調に推移いたしました。一方、先行開発により経費は増加いたしました。

この結果、売上高は62億63百万円（前年同期比163.8%増）、セグメント損失は38百万円（前年同期セグメント損失2億12百万円）となりました。

(アミューズメントコンテンツ事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、コンシューマゲームにおいて、前連結会計年度に受託しました大型案件を中心に開発を行いました。

この結果、当事業の売上高は2億86百万円（前年同期比35.2%減）、セグメント損失は61百万円（前年同期セグメント利益47百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度において販売予定の製品等が当第1四半期会計期間において実現したことによりたな卸資産は減少しましたが、前第4四半期連結会計期間に比べ当第1四半期連結会計期間の売上が好調に推移したことにより、現預金及び売上債権は増加しました。また、新社屋の建設により有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ7億4百万円増加の497億20百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、法人税の支払いにより未払法人税等は減少しましたが、仕入債務の増加等により前連結会計年度末に比べ11億94百万円増加の241億89百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、主に配当金の支払いによる利益剰余金が減少したことにより前連結会計年度末に比べ4億89百万円減少の255億30百万円となり、自己資本比率は51.2%（前連結会計年度末比1.7ポイント下落）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の業績予想に変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成23年6月30日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,080,578	15,036,186
受取手形及び売掛金	8,341,400	9,046,454
有価証券	40,000	40,000
商品及び製品	3,995,074	2,972,335
仕掛品	948,938	589,288
原材料及び貯蔵品	2,645,029	3,152,101
繰延税金資産	109,726	196,256
その他	1,419,409	600,722
貸倒引当金	△30,874	△28,212
流動資産合計	31,549,283	31,605,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,842,281	4,632,978
土地	4,389,713	4,383,008
その他（純額）	2,589,136	1,591,284
有形固定資産合計	9,821,132	10,607,270
無形固定資産		
ソフトウェア	1,746,335	1,659,446
その他	138,422	138,058
無形固定資産合計	1,884,757	1,797,505
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,343,117	2,191,717
投資不動産（純額）	891,981	888,743
長期預金	600,000	600,000
その他	2,138,629	2,243,907
貸倒引当金	△213,291	△214,199
投資その他の資産合計	5,760,436	5,710,169
固定資産合計	17,466,326	18,114,945
資産合計	49,015,609	49,720,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,196,475	12,618,967
短期借入金	5,325,000	5,825,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	753,854	137,437
役員賞与引当金	43,328	28,340
その他	3,004,789	2,956,740
流動負債合計	20,723,447	21,966,485
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,500,000
退職給付引当金	128,978	142,232
役員退職慰労引当金	344,546	356,451
その他	198,129	224,022
固定負債合計	2,271,655	2,222,706
負債合計	22,995,103	24,189,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	24,596,191	24,104,216
自己株式	△628	△628
株主資本合計	25,949,571	25,457,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,013	3,776
その他の包括利益累計額合計	4,013	3,776
少数株主持分	66,921	69,513
純資産合計	26,020,506	25,530,886
負債純資産合計	49,015,609	49,720,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,961,019	12,145,577
売上原価	5,226,031	8,416,203
売上総利益	2,734,987	3,729,374
延払販売未実現利益戻入	3,788	462
延払販売未実現利益控除	—	—
差引売上総利益	2,738,776	3,729,837
販売費及び一般管理費	2,677,159	3,544,018
営業利益	61,616	185,818
営業外収益		
受取利息	6,075	2,119
受取配当金	5,446	5,458
受取ロイヤリティー	16,071	—
不動産賃貸料	20,507	18,635
その他	11,876	31,777
営業外収益合計	59,976	57,990
営業外費用		
支払利息	12,269	12,500
持分法による投資損失	3,667	7,836
その他	11,640	9,400
営業外費用合計	27,577	29,737
経常利益	94,016	214,072
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,389	—
その他	1,219	—
特別利益合計	6,608	—
特別損失		
固定資産売却損	—	4,266
固定資産除却損	12,634	63,660
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29,615	—
特別損失合計	42,249	67,927
税金等調整前四半期純利益	58,375	146,145
法人税、住民税及び事業税	92,121	126,988
法人税等調整額	△8,018	65,032
法人税等合計	84,102	192,020
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,727	△45,875
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,806	2,592
四半期純損失(△)	△22,921	△48,467

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,727	△45,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△906	△237
その他の包括利益合計	△906	△237
四半期包括利益	△26,633	△46,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,827	△48,704
少数株主に係る四半期包括利益	△2,806	2,592

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	アミューズメント コンテンツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,144,912	2,373,881	442,225	7,961,019	—	7,961,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,482	361	—	1,844	△1,844	—
計	5,146,395	2,374,243	442,225	7,962,863	△1,844	7,961,019
セグメント利益又は セグメント損失(△)	683,690	△212,860	47,879	518,709	△457,092	61,616

(注) 1 セグメント利益の調整額△457,092千円には、セグメント間取引消去167千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△457,260千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	アミューズメント コンテンツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,595,318	6,263,619	286,639	12,145,577	—	12,145,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161	47	—	209	△209	—
計	5,595,480	6,263,667	286,639	12,145,786	△209	12,145,577
セグメント利益又は セグメント損失(△)	815,871	△38,055	△61,749	716,066	△530,247	185,818

(注) 1 セグメント利益の調整額△530,247千円には、セグメント間取引消去871千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△531,118千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。